

豊田地域医療センター



病院長名	堀口 高彦
所在地	豊田市西山町三丁目 30 番地 1
交通案内	名鉄豊田線「上豊田」駅より徒歩約 14 分 愛知環状鉄道「愛環梅坪」駅より徒歩約 10 分

□ 病院の特徴

豊田地域医療センター； <https://www.toyotachiiki-mc.or.jp/>
24時間365日の救急外来診療を行っている。二次救急医療機関。

【標榜科目】

内科（総合診療）、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科など

【病床数】 190床

一般病床 150床、回復期リハビリテーション病床 40床、

【2022年度実績】

救急医療件数 21,875件、外来患者数 52,508人、年間入院実数 1,769件、入院平均在院日数 25.1日、訪問診療利用者数 7,011件

□ 研修プログラムの特徴

豊田総合診療プログラム

【研修目標】

プライマリケアの5つの理念である「近接性」、「包括性」、「協調性」、「継続性」、「責任制」を包括的に理解して、総合診療医としての専門性を自覚しながら日々の診療にあたりると同時に、ワークライフバランスを保ちつつ、自己研鑽を続ける医師となる。

【研修期間】 3年

【研修スケジュール】

当プログラムは、豊田市、豊田加茂医師会との連携・協力の上で作成され、同じ二次医療圏（西三河北部医療圏）内の医療施設で実施される。当センターの他、トヨタ記念病院（高次急性期病院）、足助病院（へき地医療拠点病院）からなる豊田市の主要な基幹病院、へき地・中山間地区診療所のローテーションを通じ、地域包括ケアシステムでの病院間の協力体制、役割分担を各病院の立場で学ぶ。その他、藤田医科大学病院（豊明市）、半田中央病院（半田市）等と連携を図っている。ER型救急や急性期、回復期の入院診療のほか、外来診療や在宅診療などあらゆる診療の場面を通じて、全人的な診療や多職種スタッフとの連携などにリーダーシップを発揮できる資質・能力を習得する。



外来研修の様子



訪問診療へ出発！

□ 主な連携施設

トヨタ記念病院（豊田市平和町） <https://www.toyota-mh.jp/>

足助病院（豊田市岩神町） <https://asukehp.or.jp/>

藤田医科大学病院（豊明市） <https://hospital.fujita-hu.ac.jp/>

鈴木病院（豊田市月見町） <https://suzuki-hp.jp/>

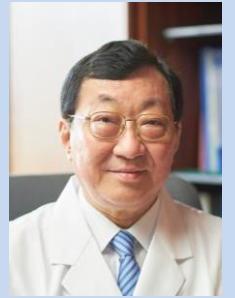
小原診療所（豊田市小原町）

半田中央病院（半田市） <https://handachuo-hp.jp/>

□ メッセージ

指導医（病院長 堀口 高彦）

西三河北部医療圏では高齢化が急激に進み、この状況を踏まえた医療体制の充実が求められています。この医療圏の医療需要予測指数は全国平均よりも明らかに高く、2025年以降にもさらに増加します。また地域看取り率は低率であり、在宅診療をはじめとする地域医療を担う医師の育成はきわめて重要な課題になっています。当センターは設立時より豊田市、豊田加茂医師会が運営に深く関わっており、地域包括ケアシステムに関する取り組みには当センターが大きく関わっています。この連携を生かして地域で総合診療医を育成することを目指しています。研修全期間を通じて同じ医療圏で研修を行います。週1日は「ワン・デイバック」システムにより当センターで外来診療による継続的な経過観察を学ぶほか、在宅医療・家庭医療をテーマにしたレクチャーやカンファレンスが実施されています。



一方で、専攻医の皆さんに地域で働く医師の様々なロールモデルを示すことができると思います。

□ 募集要項

・採用予定人数	6人
・給与／月額	基本給 364,800円、資格手当 291,840円 (その他手当あり)
・当直回数／月	1回
・当直料／回	約 12,000円
・その他	
・応募連絡先	担当者 教育推進室：長田・伊藤 電話番号 0565-34-3000 (内線：2230)